

職場・学校・地域・家庭で活かせる

人と組織を動かすコミュニケーション

— “多様性”を組織の力に変える「行動」のヒント —



これまでの人とのコミュニケーションにおいて「わかりあうのは難しいな」と感じたことはありませんか。価値観が違う人同士がお互いの立場や環境、考え方の違いを認め合い、思いやりのある組織を築くためにはどうすればいいのでしょうか。「ダイバーシティの重要性は分かるが、取り組み方がわからない」「多様性を活かして組織をよくしたい」という方に向けて、周囲を巻き込んで推進していくための「行動」のヒントを学びます。

ダイバーシティを理解する

ダイバーシティ推進の必要性和課題を改めてふり返ります

第1回 12/14(水)19:00-21:00

現状と課題のとらえ方

ダイバーシティ推進の本当の壁はどこにあるのでしょうか。多様な人が活躍できる組織をつくるために、ダイバーシティの必要性、何を課題と捉えて、どのように進めていくかを考えます。

「行動」へ向けたスキルトレーニング

違いを活かすチームをつくるために必要な「行動のヒント」を学びます

第2回 1/11(水)19:00-21:00

「無意識の偏見」への対処法

ダイバーシティ推進の壁の一つは「無意識の偏見(アンコンシャスバイアス)」です。自分の中の思い込みと、その対処法を学んだうえで心理的安全性の高いチームのつくり方を学びます。

第3回 2/6(月)19:00-21:00

違いを尊重しながら「伝える」技術

相手を尊重しながら自分の言いたいことを伝えるコミュニケーションを「アサーティブ」といいます。価値観が違う相手とも良好な関係を築いていくための方法を学びます。

第4回 2/21(火)19:00-21:00

「健全な対立」で組織を成長させる

新しいアイデアや価値を生み出していくには「健全な対立・衝突(ヘルシーコンフリクト)」も必要です。個々の多様性を尊重し、対立をポジティブな力に変えていく方法を学びます。

● 関心のある回のみ参加も可能ですが、連続して受講いただけるとより効果的です。後半3回に参加いただくと「三重のダイバーシティ推進サポーター」として修了証を発行します。● 県ではワークショップで出たご意見などを参考に「ダイバーシティの行動へ向けたヒント集」を作成します。

こんな方におすすめ

- 企業等で人事・研修・ダイバーシティ推進に関わる担当者など
- 地域活動や市民団体等多様な人と関わるリーダー、多様性を認め合う組織をつくりたい人など
- 組織開発に取り組むキャリアコンサルタント、社会保険労務士、中小企業診断士など
- 「わかりあえない」ことに課題を感じている人、人間関係を良好にしたい人など

開催方法

Zoomを活用したオンライン開催

※お申し込みいただいた方に開催2日前までに参加用URLをメールでお伝えします。
※ご参加にあたりZoomの最新バージョンのダウンロードまたは更新をお願いします。

定員 20名(先着順) ※ご参加にはお申し込みが必要です

講師

たきい ともみ

瀧井智美氏

株式会社ICB代表

営業事務、パソコンインストラクターを経て、キャリア開発・組織活性化・人材育成を支援する(株)ICBを設立。ダイバーシティ推進に向けて、働き方改革・組織風土改革・キャリア開発など様々なプロジェクトを多数担当。企業、官公庁、大学などで幅広く活動。



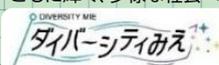
各回共通

お申込み方法

本講座には事前申込が必要です。右記の専用フォームまたはEメールのいずれかでお申込みください。Eメールの場合は、タイトルを「ダイバーシティ・スイッチ申込」として「参加ご希望の回」「お名前」「ご所属(個人の場合は不要)」「電話番号」「メールアドレス」を本文にご記入ください。
※×切は各開催日の3日前または「定員が埋まり次第」です。
【Eメール送信先】csr@tsutaetai.jp (NPO法人Mブリッジ 宛)



ともに輝く、多様な社会へ



ダイバーシティ(diversity)は、日本語に訳すと「多様性」です。三重県では、一人ひとりが尊重され、多様性が受容され、違った個性や能力を持つ一人ひとりがよい意味でお互いに影響し合うことで、相乗効果を社会に生み出す「ダイバーシティ&インクルージョン」の意味も込めて「ダイバーシティ」の言葉を使用しています。三重県では都道府県で初めてダイバーシティ推進方針を策定し、取り組みを進めています。

詳しくは… 検索